

第2期 SDG s 未来都市計画（素案）に対する意見の募集結果と意見に対する回答

○意見の募集

期 間：令和2年12月11日（金）～令和3年1月15日（金） 計36日間
 方 法：告示、町公式ホームページでの公開及び役場企画環境課にて縦覧

○意見等の内容と回答

意見等の件数：1件

No	意見等	回答
1	<p>1. 全体</p> <p>まず、ニセコ町のこれまでの取り組みに対する総括が必要だと考えます。SDG s が国連で採択される前から、ニセコ町は環境に対する取り組みをして来たと思います。これまで何を考え、どんな取り組みをし、何ができて何ができなかったのか。やり残しがあるとすればそれは SDG s でどう仕切り直すのか。そして SDG s 第1期はどうだったのか。エネルギーの項目で言えば、これまで小水力発電、木質バイオマスの活用など、調査を行っていますが、結局実効が上がる成果に結びついているものが無いように思われます。何故実効が上がるまでに至らなかったのか、それを踏まえて次はどうするのかを検証せずして、新たに SDG s として計画・目標設定しても、結局実効に結びつかないことを危惧します。次に、SDG s を推進する上でのシナリオと戦略が不明です。（理念は素晴らしいと思います。） 各項目に対する K P I 指標とその目標が唐突に設定されていると感じ、必然性が薄いと感じます。また、ロードマップがないので、第2期の目標設定がトータルの目標と整合しているのか不明です。例えば、温室ガス総排出量は 2015 年度 61,723t-CO2 対</p>	<p>総括について、町の最上位計画にあたる総合計画において、毎年及び4年に1回の評価・見直しを行っており、また、環境分野など個別分野についてもそれぞれにおいて実施しています。本計画においても、毎年、進捗評価（国の有識者会議及び内閣府）を行っていますが、こちらについて説明が不十分でありましたので、町ホームページに説明と内閣府該当ホームページへのリンクを追加しました。</p> <p>K P I の設定については、関連する個別計画（例：第2次ニセコ町環境モデル都市アクションプランなど）と整合をとったものとなっています。</p> <p>気候非常事態宣言については、第2次ニセコ町環境モデル都市アクションプランなどに基づく取組のほか、ニセコ町気候変動適応方針を定め、対応していく所存です。</p>

<p>し 2023 年度 61,340t となっていますが、これで本当に 86%削減が達成できるのでしょうか？</p> <p>第 1 期の活動を総括し、活動項目や KPI/目標値を検証し、第 2 期では戦略を練って KPI/目標値の見直しとロードマップにしていく必要があると思います。</p> <p>厳しい言い方をすると、取り急ぎ作った第 1 期の計画を漫然と踏襲しているようにしか見えません。「SDGs 未来都市」を訴求する計画としては不十分だと思います。</p> <p>更に、昨年「気候変動非常事態宣言」を行っており、「非常事態」に対応する取組みを織り込む必要があるのではないのでしょうか。それがなければ、単に形だけ宣言しただけで、逼迫度は伝わらないと感じます。</p>	
<p>2. ニセコ町の将来ビジョン 農業について</p> <p>P3 で“「国営緊急農地再編整備事業」の工事が始まり、効率化・団地化が進み、生産基盤・経営基盤の強化が図られている所である。”</p> <p>とありますが、効率化・団地化がニセコ町の目指している農業の姿なのでしょうか？</p> <p>労働集約による生産性向上は、得てして肥料の大量投入や病虫害に対する農薬使用の増加につながります。例え有機肥料であっても、牛糞の元となる飼料の多くを外国産に頼っている場合、地域循環経済に資するものではありません。農家の方の負担を軽減することは重要ですが、持続可能な社会の理念にそぐわない大型農業にならないよう、持続可能な農</p>	<p>農業の将来ビジョンについては、ニセコ町農業振興計画のとおりですが、ご懸念の「効率化・団地化」のみを目指しているものではなく、基本的にはご意見と整合性の高い内容となっているものと考えています。</p>

<p>業ビジョンが必要と思います。</p> <p>ニセコでは、小規模でも多種多様な農業形態と安心安全な作物を生産者から直接販売することで消費者の支持を得て、ビュープラザでは売り上げが伸びているのだと思います。消費者の立場で言うと、ニセコの農産物のブランド価値は、多様性と安心安全にあり、(効率化・大規模化による)安さではありません。小規模でも成り立つ、新規就農者も参入しやすい環境が整っているにも関わらず、大規模農業を推進すれば、他地域での農業の衰退と同じ道を歩むのではないのでしょうか。</p> <p>近隣地域では、農家の高齢化が進み、廃業した農地を余力が残っている農家が引き継いで大規模化し、結果として新規就農や後継者不足に拍車がかかっています。</p> <p>個人的には、安心安全を更に進め、ブランド力のある観光に提供して更にブランド力を高める(世界の富裕層は、安心安全な食材を提供し、環境に配慮した宿泊施設を選ぶ傾向にあります)と共に、地域経済循環を進めるべきと考えます。</p> <p>例えば、学校給食で地元産の安心安全な農作物を使うことは地域経済循環に貢献し、未来のある子供たちが健康に健全に育つことにつながります。SDGsの理念によく合うと考えます。</p> <p>SDGsの観点で、目指す農業の姿をもう少し掘り下げて考えるべきではないのでしょうか。(昔からの基盤産業なので、反発も予想され、大変難しい課題だと思いますが)</p>	
--	--

<p>3. ②今後の取り組む課題</p> <p>唐突に、概念的な課題がリストアップされているように感じます。あるべき姿と現状のギャップから問題点を把握し、より具体的な課題に帰趨すべきと思います。</p> <p>例えば、「住民参加」と「情報共有」により「町民一人ひとりが自ら考え、行動する真の住民自治」の実現とありますが、現状は「住民参加」が出来ていないのでしょうか？ 「情報共有」が出来ていないのでしょうか？ はたまた「町民一人ひとりが考え」ていないのでしょうか？ 「行動」していないのでしょうか？</p> <p>前の章では、“将来につながる「新たな公共」の担い手育成や自治組織の在り方を検討する時期にある”と問題提起しているのであれば、それに即した課題とした方が良いと思います。(ここでも「新たな公共」とは何を意味するのか読み取れませんが)</p> <p>以下にリストアップされている課題も、大事な課題ですが概念的なので、もう少し踏み砕くべきと考えます。</p>	<p>ここでは、地域特性等から考えられる中長期的な視点も踏まえた主な課題を列記しています。今後の方向性を定めるためのものでもあり、具体的な内容での記載とはしていません。また、記載内容について、現時点でまったくできていない、というものでもありません。</p>
<p>4. 2030年のあるべき姿</p> <p>P4 最初の理念の部分はとても良いと思います。その後いきなり目指す姿が書かれていますが、折角、国連のSDGsに準じて計画を作るのであれば、2030年の世界の姿や人類の姿を思い描き、次に日本のあるべき姿を描き、それに対してニセコ町がどうありたいか、を考察すること(Think Global, Act Local)も必要かと考えます。</p> <p>この中で「SDGsの17のゴール達成に向</p>	<p>本計画は、総花的な計画ではなく、目標7、目標8、目標11などに対して目標設定を行っています。ただし、SDGsの考えとして、入口の目標はそれぞれ別でも2030年に17の目標すべての同時達成を目指しているものであり、町としても上記で定めた目標達成、本計画の推進を通じて17の目標達成に貢献していきたいと考えています。</p> <p>また、表現については見直しのうえ、一部修正しました。</p>

けた取り組みに果敢にチャレンジする」とありますが、無理に17項目全てを網羅する必要はないと思います。ニセコ町として17項目の中でどこに重点を置いて取り組むかを明示した方が強いメッセージを与え、実効も上がりやすいのではないのでしょうか。総花的にしてしまうと、往々にして無理にこじ付けた KPI を設定し、数字遊びの世界に陥り易いと考えます。

環境を生かし、資源、経済が循環する自治のまち「サステイナブルタウンニセコ」の構築 の項では、「～構築する。」「強化する。」「高める。」「呼び込む。」という動詞表現が使われているので、あるべき姿ではなく、方法論を書いています。あるべき姿を示すのであれば、「～が実現されたまち」「稼ぐ力の強い観光」等の表現であるべきです。方法論に言及するのであれば、もっと具体的な戦略に踏み込むべきです。

(P6 以降の個別項が、「地域循環・還元する観光業」「環境と調和した農業」「世界の環境先進地への歩み、ブランディング強化」「相互扶助社会、住民自治意識の高い地域の実現」と直接リンクしていないため、唐突な KPI 設定に感じます。)

この章の中で、「稼ぐ力を強化する」という表現は、貪欲に利潤追求するように誤解されかねません。SDGs にそぐわない表現と感じます。同じ経済規模でも、域外流出を減らすことで「域内の経済を活性化」させることが主旨ではないでしょうか。

P5 の冒頭の方は、「環境先進地への歩み、ブランディング強化」の目的が、投資を

<p>呼び込むことだけであるかのような印象を与えます。「世界の環境先進地」の定義も必要だと感じます。環境問題への取り組みは、「将来世代により良い地域を残すために」という理念が主で、副次的に投資も呼び込むことになるのではないのでしょうか。損得勘定で環境の取り組みをしていると受け取られないようにすべきと思います。</p>	
<p>5. <解説2>にニセコ町総合計画などの変遷が書かれていますが、計画や戦略を策定すること以上に大事なことは、それらがちゃんと実施できたのかどうか、できていないところはどこなのか、それを踏まえてどうするか、というPDCAだと考えます。</p> <p>PDCAをちゃんとやらないと、例えばCO2 86%削減は到底不可能だと感じます。苦言を呈すると、ニセコ町は口当たりの良いスローガンを掲げる割に、具体的な成果に結びつかないまま、また新しいスローガンに飛びついている印象があります。</p> <p>チャレンジして、問題があったら分析して次に活かすことが重要で、それが目標達成への王道だと思います。</p>	<p>PDCAについては、町の最上位計画にあたる総合計画において、毎年及び4年に1回の評価・見直しを行っており、また、環境分野など個別分野についてもそれぞれにおいて実施しています。本計画においても、毎年、進捗評価（国の有識者会議及び内閣府）を行っているところです。</p>
<p>6. 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット</p> <p>前述したように、あるべき姿とのリンクしているべきだと思います。</p> <p>そうすると、</p> <p>（経済）は「地域循環・還元する観光業」「環境と調和した農業」となり、「地域経済牽引事業の新規事業件数」「先端設備等導入計画の認定件数」というKPIは適切ではないと感じます。例えば、「ボイラ</p>	<p>KPIの設定については、関連する個別計画（例：第2次ニセコ町環境モデル都市アクションプランなど）と整合をとったものとなっています。また、国の有識者等の助言を踏まえ設定しているものですが、いただいたご意見も参考に、今後も、適宜、見直していきたいと考えています。</p>

一などで使用する重油の〇%以上を地域資源を活用した再生可能エネルギーに置換する」といった KPI も可能で、地域内経済循環をきちんと示すことになると考えます。

また、解説部分で「稼ぐ力を強化するため」(目的)に「投資を呼び込み」、「適正な雇用の創出と起業・創業を促す」(手段)と書かれていますが、ここも「稼ぐ力」という表現・目的に違和感を感じます。「多様な人の多様な働き方を支え、幸せな生き方ができる社会を実現する」ことであって欲しいと思います。AIなどで職業は変化するので、新たな起業・創業は必要ですが、この KPI は適切でないと感じます。

(社会)はあるべき姿の「相互扶助社会、住民自治意識の高い地域の実現」にリンクしていますが、「満足度」以外の KPI 指標も考えるべきだと思います。例えば、町民講座の回数(継続だけでも評価に値すると思います)や参加者数、パブリックオピニオンへの意見数、議会傍聴者数、等。

また、今後は、外国籍の住民の巻き込みや多様性のある人や年代間での交流などの視点も重要になってくると思います。

(環境)は「環境と調和した農業」「世界の環境先進地への歩み、ブランディング強化」にリンクすると思いますが、「環境と調和した農業」の KPI がはっきりしません。

2 項目の「ニセコ生活を象徴する計活空間の形成」というのも抽象的で唐突だと感じます。(他で定義しているのであれ

<p>ば、解説等があると判り易い)</p> <p>新庁舎や富士見地区のモデルエリアを念頭に置いていると思いますが、結論ありきの KPI に感じてしまいます。モデルエリア以外は何を進めるのでしょうか？</p> <p>また、1 項目の CO2 排出量の KPI が、2030 年に 34,565t となっていますが、P12 では 2023 年に 61,340t となっており、整合性が不明です。ロードマップで整合していることを示す必要があると思います。解説の部分で「再生可能エネルギー 100%の町を目指す」と、目指す姿（あるべき姿）を書いています。ここでは達成方策や戦略を示すべきだと思います。</p> <p>（例えば、当面省エネとコジェネで効率を上げ、地熱発電の可能性を見極め、シフトしていく。可能性が低い場合、森林資源の活用、太陽光、LPG に代わるバイオマスガス、水素など全方位で検討を進め、2023 年に判断する、等)</p>	
<p>7. 自治体 SDG s の推進に資する取組</p> <p>① 「経済」「社会」「環境」の三側面をつなぐ統合的取組</p> <p>モデル地区を全面的に取り上げていますが、それ以外のエリアの持続可能性をどのようにするのでしょうか？ 全てモデル地区に集約することは困難だと思います。SDG s の理念は、1 部エリアだけが良ければよい、というものではないと思います。</p> <p>② 地域連携による雇用創出及び人材育成の取組</p> <p>「地域連携」を謳うのであれば、この KPI では駄目だと思います。ニセコ町の人材</p>	<p>N I S E K O ・生活モデル地区構築事業については、当初より 1 地区で完結するものではなく、その取組成果を町内外の他地区でも展開してくことを想定のうち展開しています。町に限らず他地域、日本全体への波及・貢献も目指し取り組んでいるところです。</p> <p>農業については前述のとおりですが、ご意見は農業担当部署とも共有します。</p> <p>K P I の設定についても、前述のとおりです。</p> <p>※ご意見中、「●」については、固有名詞につき、表記を修正しています</p>

<p>不足解消の観点だけが書かれています が、他の地域から人材を集めれば、他の 地域は衰退し、●●や●●●のように補助 金に走ることになると思います。ニセ コ町は後志の盟主という気概を持って、 連携した地域全体が良くなる「三方よ し」の取組みでないと、SDG sに資するこ とにはならないと考えます。</p> <p>③ 農地の再整備を進め、農畜産物 のブランド化を進める取組 農地の再整備がどのようなブランド化 に結びつくのでしょうか？ ブランド というのは、高価な対価を払っても買っ て良かったと思わせる品質にあると思 います。</p> <p>(1)おいしさ(高品質)、(2)希少性(今だ け、ここだけ、あなただけ)、(3)安心安 全 が大きな柱だと思います。物語性も 重要だと思います。どこに主眼を置くの か、それをどのレベルにするのか、が KPI 指標だと思います。安心安全だけで言え ば、今や「低農薬」ではブランドとして は不十分だと思います。</p> <p>④ まちづくり基本条例に位置付 けた住民参加・情報公開を継続・向上さ せる取組 前述</p> <p>⑤ 環境モデル都市アクションプ ランを推進 前述、KPI の目標値の整合性 (P8 との) が不明です。</p>	
<p>8. 情報発信 私の近隣住民の方は、町の取組みを余 り知りません。町のホームページをほと んど見ていないようですし、またホーム ページの階層も判りにくいので、欲しい</p>	<p>ご意見のとおり、情報発信・情報共有に ついては、常に工夫し、改善しながら取 り組んでいきたいと考えています。</p>

<p>情報に辿りつけないこともあります。SDG sに限らず、情報発信は更に工夫していただけると有難いと思います。</p>	
<p>9. 推進体制 全体像がよく判りません。行政内の執行体制で、推進本部、推進会議の役割・責任と権限・構成メンバーはどうなっているのでしょうか？ 行政組織は縦割りの弊害が出やすく、SDG sのような幅広い視点が必要な取組みでは、実行レベルで各課横断的に統括する責任者の設置と権限委譲が重要だと考えます。町長が本部長となっておりますが、町長は責任範囲が行政全体にあるのでお忙しいため、実務推進を機動性をもって進める体制にすべきと思います。町長はCEOの位置づけとし、別に権限を委譲したCOOを置く必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>会議規定に基づき設置・運営していますが、ご指摘のとおり、各課横断的に取り組んでいくことが重要と考えており、今後の取組状況に応じて、より適切な推進体制についても見直していきたいと考えています。</p>
<p>全体構成として、あるべき姿⇒現状（あるべき姿とのギャップ）⇒問題点 or 課題⇒取組み内容、が別章建てとなっております。関連性・必然性が判りにくくなっています。 バルセロナの「非常事態宣言」行動計画・マニフェストは、カテゴリー毎に上記がまとめられているので、非常に分りやすいと感じます。また、経済モデル（脱成長）・過度な消費経済との決別にまで言及していることは、覚悟と格調高さを感じさせます。ご参考まで。</p>	<p>ご意見、ありがとうございます。事例については、今後に向け、参考にしていきたいと考えています。</p>